

多文化共生への取組に関する調査

令和4年1月

佐賀県地域交流部国際課

I 「多文化共生への取組に関する調査」概要

1 調査の目的

日本人県民の多文化共生や外国人県民に対する意識等を把握するためにアンケート調査を実施し、その結果から県内各市町及び県の多文化共生の地域づくりの推進に係る施策の方向性を明確にする。

2 調査期間

令和3年12月～令和4年1月

3 調査対象

県内に居住する18歳以上の男女個人(日本国籍)

4 調査方法

インターネット調査(WEB アンケート)

5 有効回答サンプル数

400

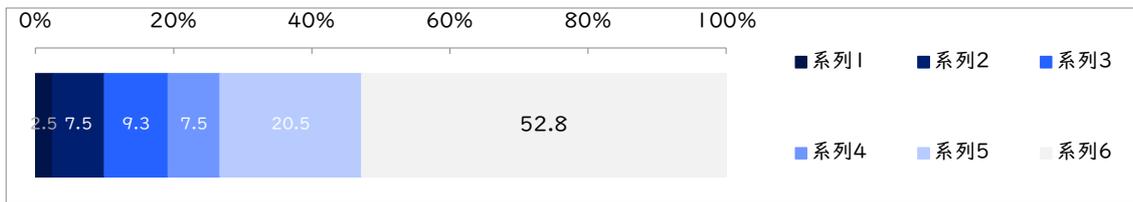
6 調査項目

- (1)回答者の属性について
- (2)外国人県民との付き合い、交流について
- (3)地域で外国人県民と共に暮らすことについて
- (4)多文化共生・やさしい日本語の認知度について
- (5)佐賀県の多文化共生に関する取組について
- (6)外国人県民に対する災害時の支援について
- (7)行政が取り組むべきことについて

Ⅱ 「多文化共生への取組に関する調査」結果

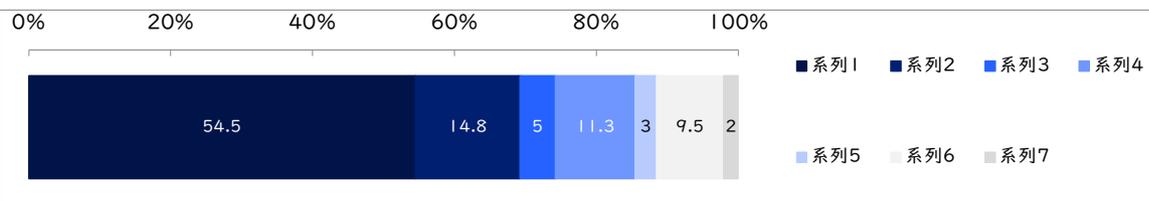
■単純集計表(n%表)
 ■あなた自身のことについてお伺いします。
 Q1.佐賀県には何年お住まいですか。(通算)

	n	%
全体	400	100.0
1 1年未満	10	2.5
2 1年~4年	30	7.5
3 5年~10年	37	9.3
4 11年~20年	30	7.5
5 21年~30年	82	20.5
6 31年以上	211	52.8



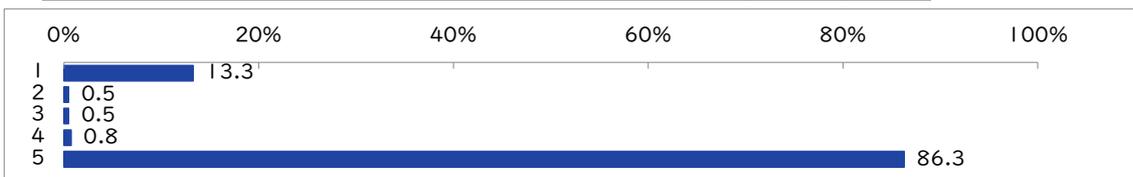
Q2.あなたの仕事はなんですか。

	n	%
全体	400	100.0
1 会社員・公務員(常勤)	218	54.5
2 アルバイト・パート等(非常勤)	59	14.8
3 自営業	20	5.0
4 専業主婦・主夫	45	11.3
5 学生(大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校)	12	3.0
6 無職	38	9.5
7 その他:	8	2.0



Q3.あなたは日本語以外で日常会話のできる言語がありますか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

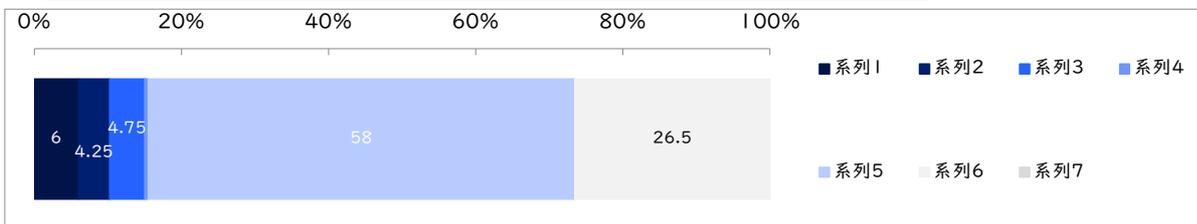
	n	%
全体	400	100.0
1 英語	53	13.3
2 中国語	2	0.5
3 韓国語	2	0.5
4 その他の言語:	3	0.8
5 ない	345	86.3



■外国人住民とのつきあいや交流についてお伺いします。

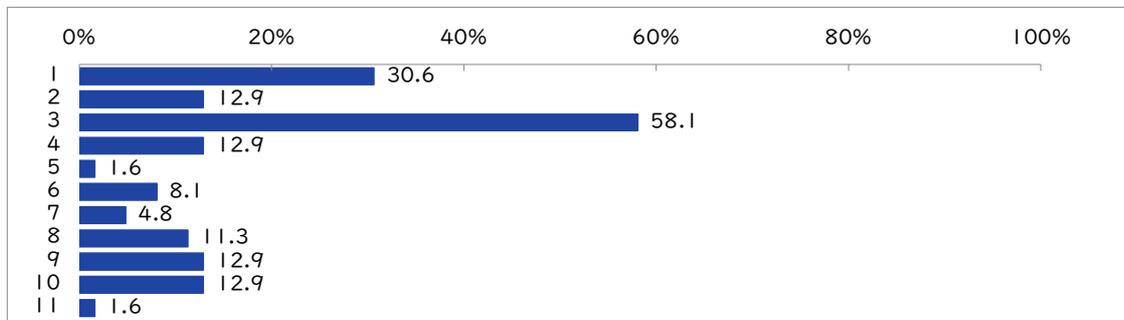
Q4-1.あなたは日頃、佐賀県に住む外国人とどのような付き合いがありますか。次の中から1つ選んでください。(複数の方との付き合いがある場合は、その中でもっとも親しい方との関係について当てはまるものを選んでください。)

	n	%
全体	400	100.0
1 挨拶する程度の付き合いがある	24	6.0
2 友人・知人として付き合いがある	17	4.3
3 同僚として職場での付き合いがある	19	4.8
4 家族同様の親しい付き合いがある	2	0.5
5 見かける程度で付き合いはない	232	58.0
6 見かけることすらない	106	26.5
7 その他:	0	0.0



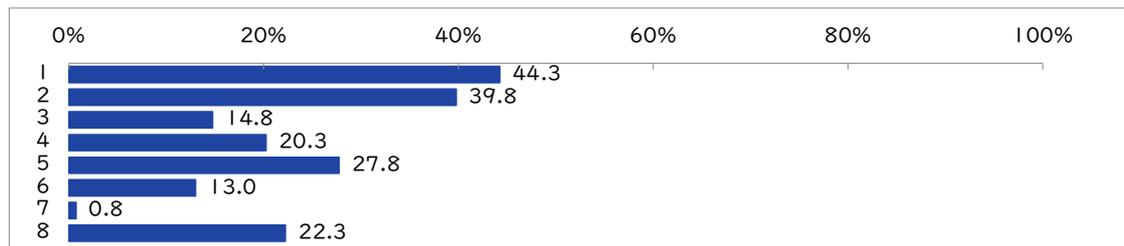
Q4-2.あなたが佐賀県に住む外国人と接するのは、どのような場面ですか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

	n	%
全体	62	100.0
1 自宅の近所	19	30.6
2 地域の活動(自治会の清掃、祭りなど)	8	12.9
3 仕事	36	58.1
4 学校	8	12.9
5 子どもの学校を通じた保護者同士の交流	1	1.6
6 行政などが行う国際交流等のイベント	5	8.1
7 外国人への支援活動(地域日本語教室など)	3	4.8
8 趣味のグループやサークルの活動	7	11.3
9 友人・家族との私的な交流	8	12.9
10 地域の店等	8	12.9
11 その他:	1	1.6



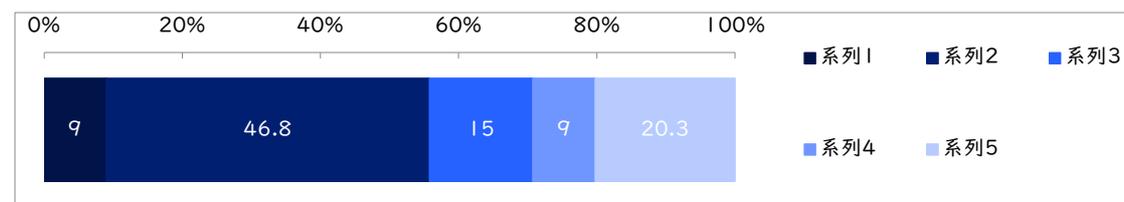
Q5.外国人が増えることについて、どのような影響があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3つまで)

	n	%
全体	400	100.0
1 国際理解や異文化理解体験の機会が増加する	177	44.3
2 働き手が増加する(働き手の不足の解消)	159	39.8
3 地域経済の発展につながる	59	14.8
4 地域の活性化につながる	81	20.3
5 治安の悪化やトラブルが増加する	111	27.8
6 外国人向けの施策、インフラ整備などの社会的負担が増加する	52	13.0
7 その他:	3	0.8
8 特に影響はない	89	22.3



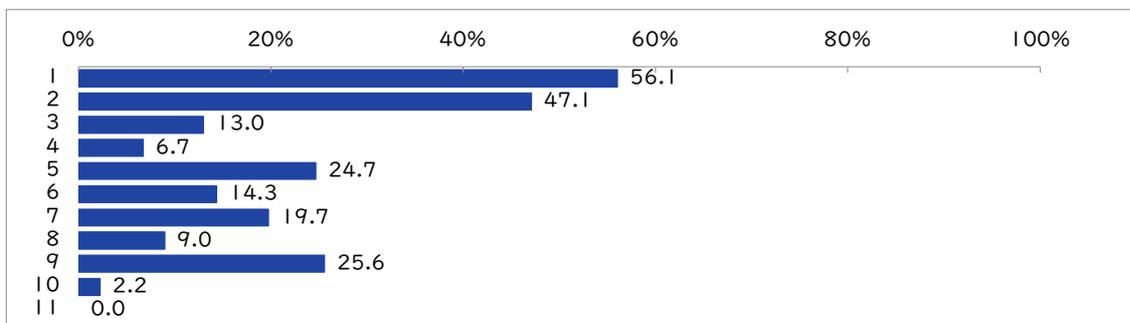
Q6-1.あなたは地域に暮らす外国人住民と交流したいですか。

	n	%
全体	400	100.0
1 ぜひ交流したい	36	9.0
2 機会があれば交流したい	187	46.8
3 あまり交流したくない	60	15.0
4 交流したくない	36	9.0
5 わからない	81	20.3



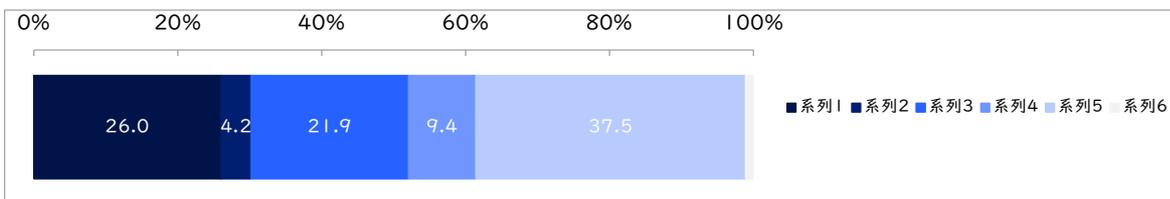
Q6-2.どのような交流をしたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3つまで)

	n	%
全体	223	100.0
1 外国語を学ぶ交流	125	56.1
2 異文化理解イベントを通じた交流	105	47.1
3 自治会などのまちづくり活動を通じた交流	29	13.0
4 行政、自治会などの意見交換会を通じた交流	15	6.7
5 地域の活動(自治会の清掃、祭りなど)を通じた交流	55	24.7
6 外国人への支援活動(日本語教室など)を通じた交流	32	14.3
7 職場・学校での関わりを通じた交流	44	19.7
8 子どもの学校を通じた保護者同士の交流	20	9.0
9 趣味のグループやサークルの活動を通じた交流	57	25.6
10 防災訓練を通じた交流	5	2.2
11 その他:	0	0.0



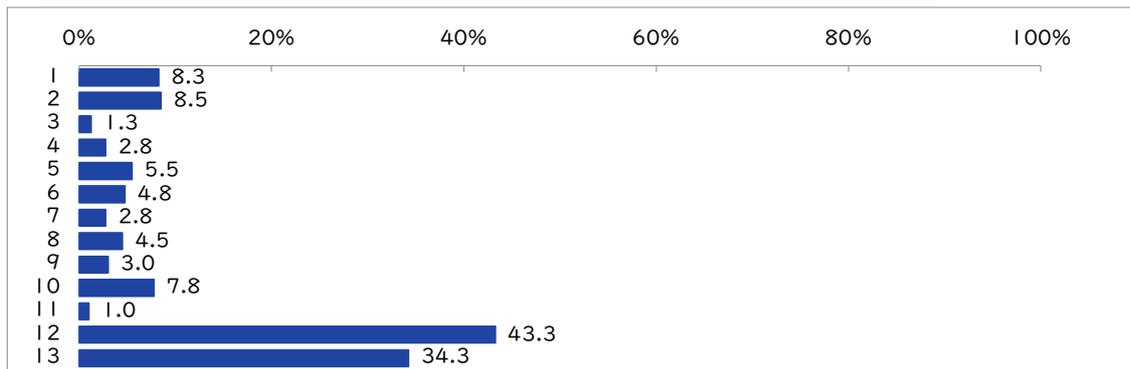
Q6-3.前問で「{Q6-1 回答(文)}」と答えた理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

	n	%
全体	96	100.0
1 外国語が出来ないから	25	26.0
2 外国人に対して良いイメージがないから	4	4.2
3 トラブル等が心配だから	21	21.9
4 交流している時間がないから	9	9.4
5 興味がないから	36	37.5
6 その他:	1	1.0



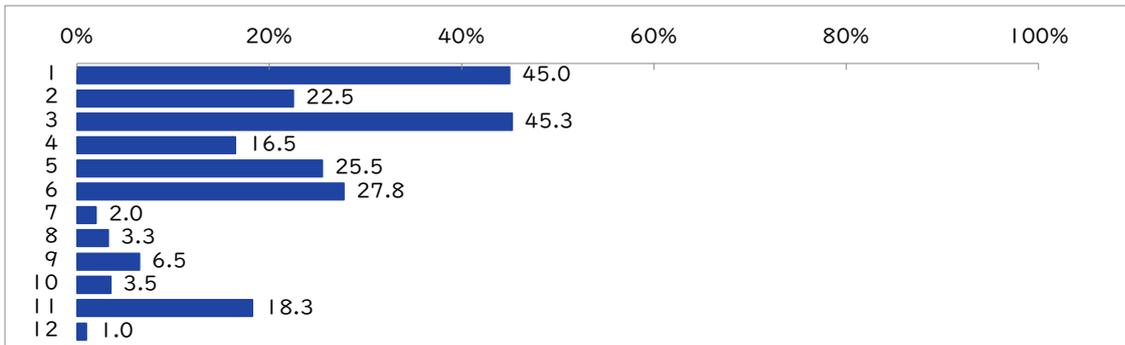
Q7.地域に住んでいる外国人について、次のような近所でのトラブルの経験がありますか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

	n	%
全体	400	100.0
1 ゴミ出しのルールのこと	33	8.3
2 生活音・騒音のこと	34	8.5
3 ペットのこと	5	1.3
4 食べ物のおいこと	11	2.8
5 駐車・駐輪のこと	22	5.5
6 部屋の使い方のこと	19	4.8
7 喫煙のマナーのこと	11	2.8
8 集合住宅等の共用部分の使い方に関すること	18	4.5
9 地域活動(清掃や祭りなど)に参加しないこと	12	3.0
10 意思の疎通ができないこと	31	7.8
11 その他:	4	1.0
12 特になし	173	43.3
13 地域に外国人は住んでいない(知らない)	137	34.3



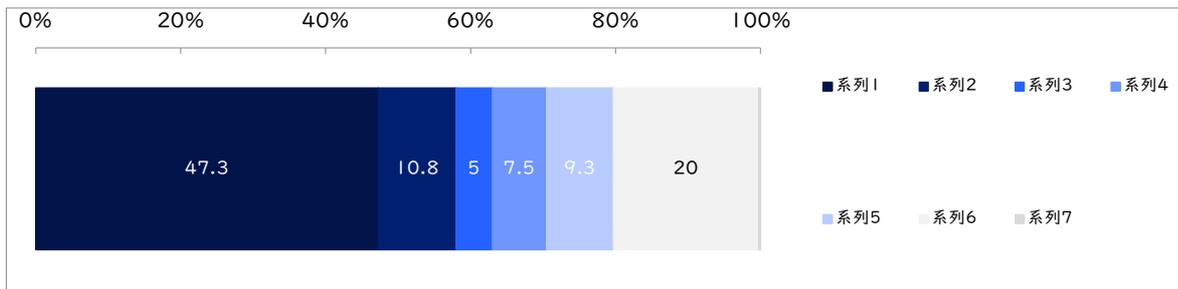
Q8.外国人が地域の住民として、日本人と共に暮らしていくために、日本人住民にとって重要なことは何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3つまで)

	n	%
全体	400	100.0
1 日常のあいさつを交わす	180	45.0
2 積極的にコミュニケーションをとる	90	22.5
3 外国人に対する先入観をもたない	181	45.3
4 地域に住む外国人の人柄を知る	66	16.5
5 外国人の生活習慣や文化の違いについて理解を深める	102	25.5
6 地域の生活ルール等を、外国人住民に分かりやすく伝える	111	27.8
7 日本語教室のボランティア活動など外国人住民の支援に参加する	8	2.0
8 地域の国際交流イベント等に積極的に参加する	13	3.3
9 外国語を学ぶ	26	6.5
10 地域の外国人との避難訓練や清掃等の地域活動に参加する	14	3.5
11 特にない	73	18.3
12 その他:	4	1.0



Q9.日本人と外国人がともに安心して暮らせる社会にするため、地域に住む外国人にどのようなことを期待しますか。次の中から1つを選んでください。

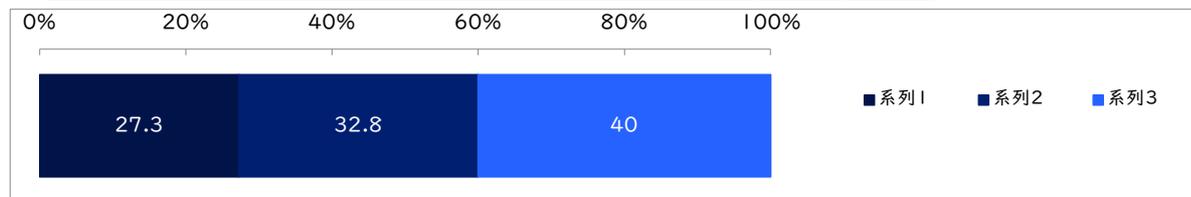
	n	%
全体	400	100.0
1 日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい	189	47.3
2 日本語や日本の文化を学んでほしい	43	10.8
3 地域住民として交流や地域の活動(清掃、祭りなど)に積極的に参加してほしい	20	5.0
4 外国の言葉や文化を教えてほしい	30	7.5
5 生活の中で感じたことを提案、発言してほしい	37	9.3
6 特にない	80	20.0
7 その他:	1	0.3



■地域の多文化化や多文化共生施策の認識についてお伺いします。

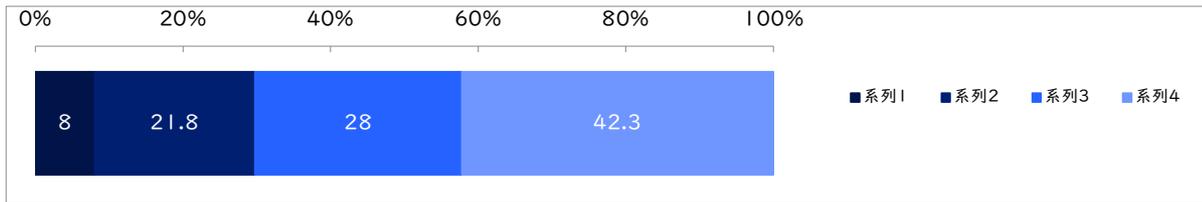
Q10.「多文化共生」という言葉を知っていましたか。

	n	%
全体	400	100.0
1 知っていた	109	27.3
2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らなかった	131	32.8
3 知らなかった	160	40.0



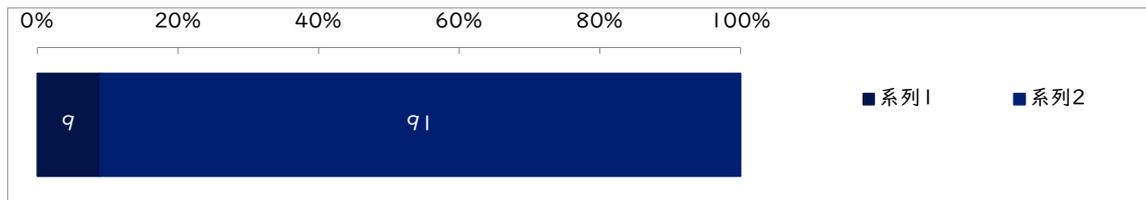
Q11.「やさしい日本語」を知っていましたか。(「やさしい日本語」とは、「難しい表現を使わない」「短く区切る」「ゆっくり話す」等、相手に配慮した易しい・優しい日本語のことで、県ではこの「やさしい日本語」の普及を進めています。)

	n	%
全体	400	100.0
1 知っていて、自分でも使っていた	32	8.0
2 どういうものか理解はしていた	87	21.8
3 言葉を聞いたことがあるが、詳しくは知らなかった	112	28.0
4 全く知らなかった	169	42.3



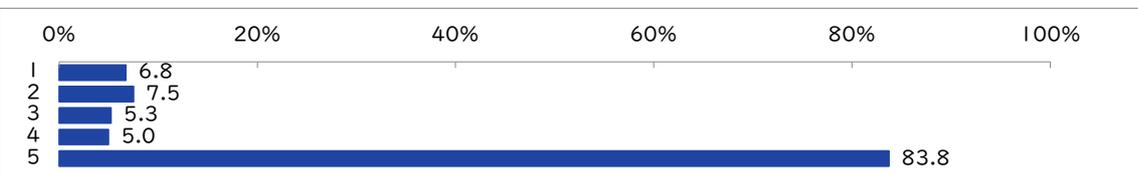
Q12.佐賀県が、外国人に関する総合相談窓口「さが多文化共生センター」を開設し、様々な相談に応じるなどの取り組みを行っていることを知っていますか。

	n	%
全体	400	100.0
1 知っていた	36	9.0
2 知らなかった	364	91.0



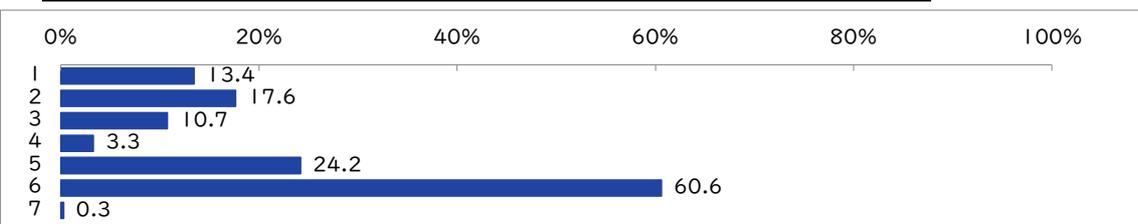
Q13.佐賀県内では国際交流や多文化共生を進めるための様々な事業が行われています。参加したことがある事業を、次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

	n	%
全体	400	100.0
1 さが国際フェスタなどの大きな規模の国際イベント	27	6.8
2 外国の文化・習慣・伝統を知ることができる講座、講演会、イベント	30	7.5
3 外国語を学ぶ講座	21	5.3
4 外国の姉妹都市等との交流事業	20	5.0
5 参加したことがない	335	83.8



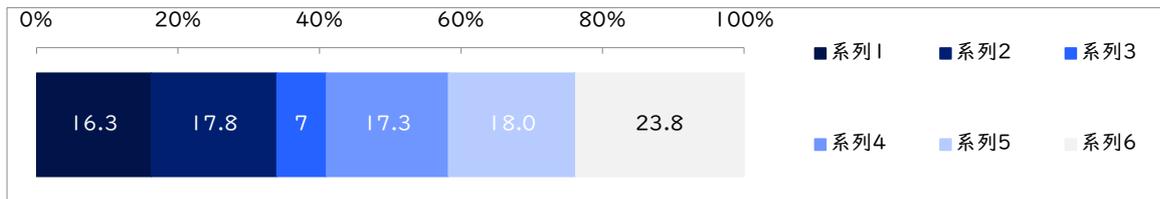
Q14.参加したことがない理由を次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

	n	%
全体	335	100.0
1 参加の仕方がわからない	45	13.4
2 参加する時間がない	59	17.6
3 一緒に参加する仲間がいない	36	10.7
4 事業の内容が難しい	11	3.3
5 興味が無い、気が進まない	81	24.2
6 こうした事業が行われていることを知らなかった	203	60.6
7 その他	1	0.3



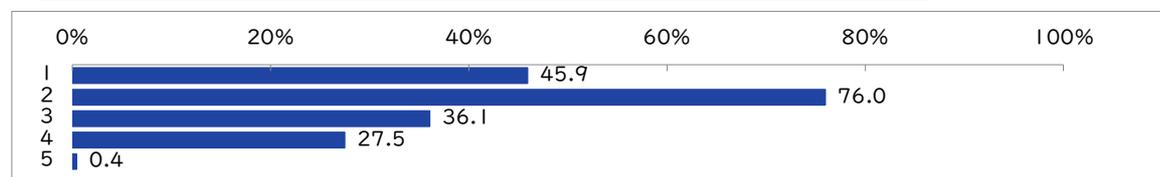
Q15-1.災害時に避難をする必要があり、あなたの近くに外国人がいる場合、外国人の避難を手助けできると思いますか。次の中から1つ選んでください。

	n	%
全体	400	100.0
1 自分1人ですんでと思う	65	16.3
2 誰かと一緒にあればすんでと思う	71	17.8
3 行政や関係機関から呼びかけがあれば、自分1人でできると思う	28	7.0
4 行政や関係機関から呼びかけがあり、誰かと一緒にあればできると思う	69	17.3
5 できないと思う	72	18.0
6 わからない	95	23.8



Q15-2.避難する外国人のために、あなたが手助けできると思うことは次の項目のどれですか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

	n	%
全体	233	100.0
1 安否確認	107	45.9
2 避難先への誘導	177	76.0
3 災害状況や避難情報などの伝達	84	36.1
4 生活必需品の確保	64	27.5
5 その他:	1	0.4



Q16.多文化共生の社会づくりを推進していくために、県や市町は、どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3つまで)

	n	%
全体	400	100.0
1 日本人と外国人の交流イベントを開催する	110	27.5
2 地域日本語教室を設置する	41	10.3
3 日本語学習の環境や体制を整備する	44	11.0
4 「やさしい日本語」を普及する	96	24.0
5 生活情報などを多言語で発信する	71	17.8
6 外国の文化・習慣などを紹介する	38	9.5
7 日本人と外国人による協働の機会を増やす	83	20.8
8 外国人も意見を提案しやすくする	48	12.0
9 多言語での生活相談窓口を設置する	52	13.0
10 医療・行政窓口や学校での通訳支援を充実する	42	10.5
11 日本人と外国人の意見交換会を開催する	28	7.0
12 外国にルーツを持つ子どもへの支援をする	21	5.3
13 NPO/NGOやボランティアの育成と支援をする	15	3.8
14 外国人への偏見・差別をなくすための啓発をする	52	13.0
15 外国人向けの防災訓練を実施する	29	7.3
16 その他:	2	0.5
17 する必要はない	64	16.0

